

2019年10月31日
日本板硝子株式会社

2020年3月期 第2四半期連結決算報告 (2019年4月1日～2019年9月30日)

- 為替変動に加え、欧州の自動車生産の減少および第2四半期に入り一部の建築用ガラス市場で厳しさを増した事業環境の影響を受け、減収減益
- 主要市場で減速傾向が続く見通しを踏まえ、通期業績予想を修正
- 再上昇に向けて、引き続き「事業構造の変革」に取り組む

為替変動に加え、欧州の自動車生産の減少および第2四半期に入り

一部の建築用ガラス市場で厳しさを増した事業環境の影響を受け、減収減益

- グループ売上高は2,886億円、主として為替変動の影響により減収（前年同期3,081億円）
- 無形資産償却前営業利益は、欧州の自動車生産の減少および第2四半期に入り厳しさを増した市場環境の影響を受け、158億円（前年同期188億円）

	売上高		無形資産償却前営業利益	
	FY20 Q2	FY19 Q2	FY20 Q2	FY19 Q2
建築用ガラス事業	1,197億円	1,217億円	98億円	119億円
自動車用ガラス事業	1,482億円	1,608億円	52億円	74億円
高機能ガラス事業	202億円	250億円	35億円	44億円

- 親会社所有者に帰属する当期利益は、営業利益の減少に加え、前年度に一過性の持分法投資利益を計上した影響により19億円（前年同期93億円）

主要市場で減速傾向が続く見通しを踏まえ、通期業績予想を修正

- 建築用ガラス事業：- 欧州および北米でガラス供給増により厳しい市場環境
- 太陽電池パネル用ガラスは伸長
- 自動車用ガラス事業・高機能ガラス事業：欧州、中国を中心とした自動車生産の減少が影響
- 戦略投資を除く通常のフリー・キャッシュ・フローはプラスを目指す

再上昇に向けて、「事業構造の変革」に取り組む

- 収益力強化のための生産性改善・コスト削減、注力事業の収益力強化を推進
- 成長に向けて、戦略投資の実行、製品開発・事業開発加速

<2020年3月期第2四半期 連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書

(億円)	2019年3月期 4月-9月期	2020年3月期 4月-9月期	増減
売上高	3,081	2,886	(195)
無形資産償却前営業利益	188	158	(30)
償却費*	(10)	(9)	1
営業利益	179	149	(30)
個別開示項目	(12)	(22)	(10)
金融費用(純額)	(67)	(63)	4
持分法による投資損益	38	8	(30)
税引前利益	137	72	(65)
当期利益	100	24	(76)
親会社の所有者に帰属する当期利益	93	19	(74)
EBITDA	320	317	(3)

*: ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

10月31日 | 2020年3月期第2四半期決算報告

連結業績予想の修正

(億円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 通期見通し (当初)	2020年3月期 通期見通し (修正後)	差異
売上高	6,128	6,200	5,700	(500)
無形資産償却前営業利益	388	370	310	(60)
償却費*	(19)	(20)	(20)	-
営業利益	369	350	290	(60)
個別開示項目	(71)	(60)	(70)	(10)
金融費用(純額)	(133)	(140)	(140)	-
持分法による投資損益	62	40	20	(20)
税引前利益	227	190	100	(90)
当期利益	144	120	40	(80)
親会社の所有者に帰属する当期利益	133	110	30	(80)

*: ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

10月31日 | 2020年3月期第2四半期決算報告

決算関係問い合わせ先:

● IR部: 03-5443-0100

報道関係問い合わせ先:

● 広報部: 03-5443-9477